

出会う、つくる、はじめる

2020年秋
旧県立美術館は
秋田市文化創造交流館(仮称)
としてオープンします！

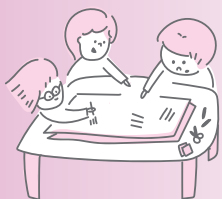


イメージ図

2・3ページの内容は、昨年度、市民参加のワークショップを開催するなどして策定した運営管理計画の概要です。

問 企画調整課 ☎(888)5462 / ◆広報ID番号 1016352

基本理念

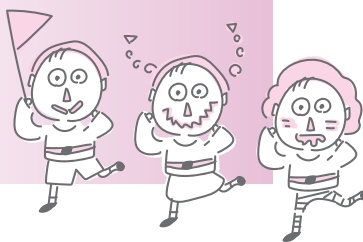


秋田市文化創造交流館(仮称)では、市民一人ひとりの創造力を育むため、すべての人に場を開き、学びと出会いの機会、活動のための環境、情報発信などのサポートを提供します。また、専門家などと協働して実験的なテーマに取り組む事業を通し、新たな思考や創造のきっかけを生み出します。さらに、施設で生まれた活動やアイデアを積極的にまちに開き、秋田の魅力づくりに貢献します。

大切にしたいこと

1. 自由で柔軟な環境をつくること
2. 市民一人ひとりの創造力を尊重し、応援すること
3. 生み出された多様な価値をひろげること

この3つの考えのもと、
6つの基本方針で、
「文化創造のまち」をめざします！



基本方針

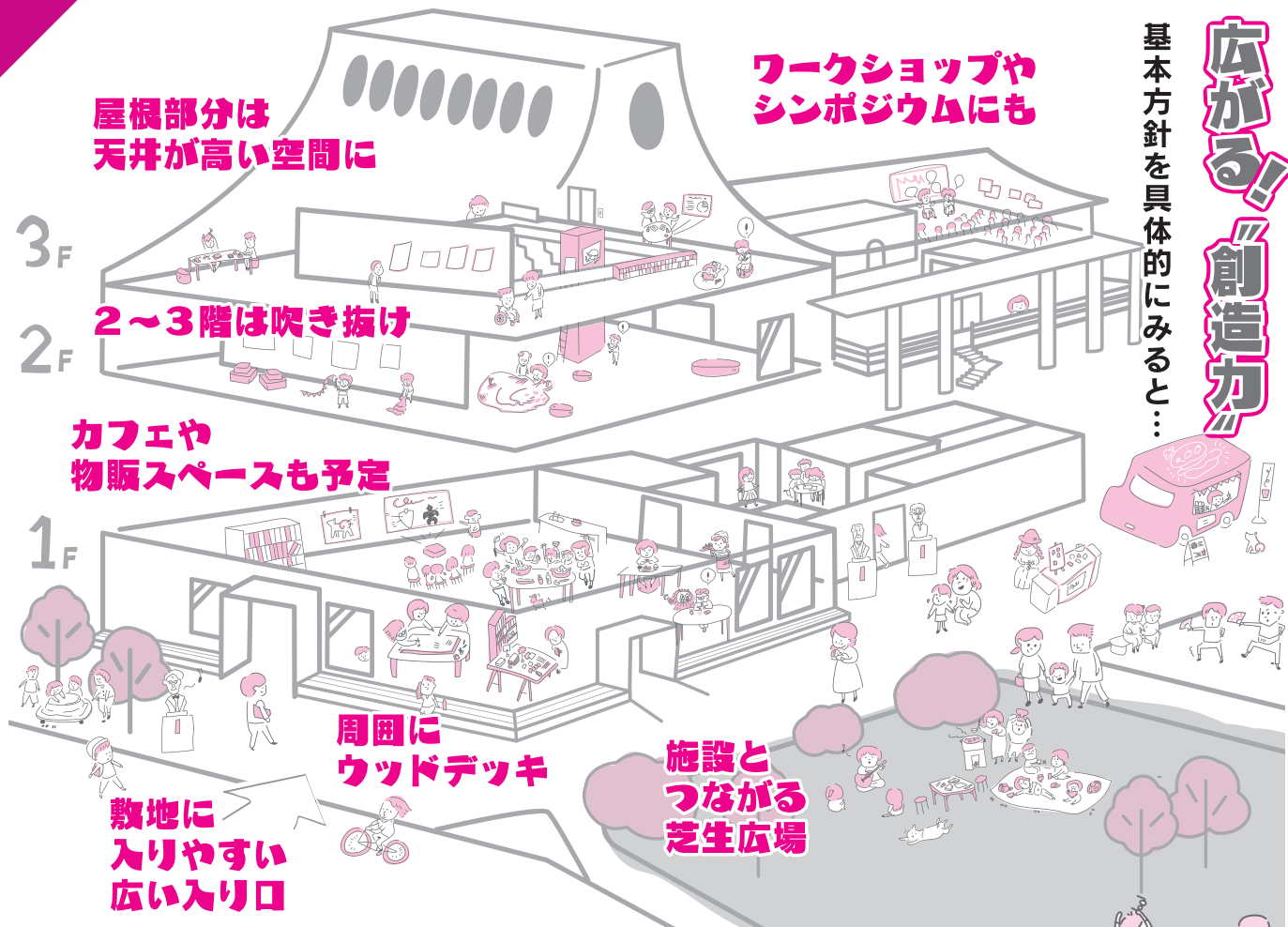
- 1 すべての人に開かれた環境をつくる
魅力的な建築空間を活かし、すべての人に開かれた環境をつくりまします。
- 2 創造力を養う出会いの機会をつくる
背景や価値観の異なる人が交流することで、新たな視点などに出会い、主体的な意欲をかき立てます。
- 3 創造力を発揮する活動を支援する
コーディネーターが利用者のアイデアの実現や情報発信をサポートし、創造力の発揮を支援します。
- 4 創造力を刺激する実験的事業を行う
多様な分野の専門家を招いたイベントなど、新たな視点をもたらす自主事業で創造力を刺激します。
- 5 創造力を秋田のまちにひろげる
近隣の歴史・文化施設、商業施設、他分野の事業とも連携します。
- 6 活動の過程と成果を発信し、アーカイブする
活動内容を全国各地で文化創造を試みる人たちと情報共有し、よりよい施設運営に活かします。



「秋田市文化創造交流館(仮称)」は、未来に向けて新しい価値を生み出す「文化創造プロジェクト」の拠点として来年秋のオープンをめざしています。また市では、中心市街地から千秋公園に至る一帯を「芸術文化ゾーン」として充実させる取り組みを行っており、その核としての役割も担う重要な施設に位置づけています。

広がる！創造力

基本方針を具体的にみると…

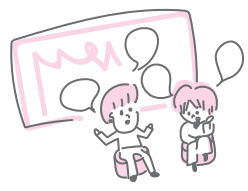


イラストは、運営管理計画のパンフレットから抜粋

- ①空間の提供
 - すべての人に開かれた、心が安らぐ環境やサービスがあります。
 - 憩いの空間、多目的スペース、物販スペース、カフェスペース、授乳室、おむつ交換場所のほか、フリーWi-Fiを整備
 - ▼屋外広場ではクラフト市やマルシェもできます
- ②機会の提供
 - 新しい知識や視点に出会い、学び合うための機会があります。コーディネーターを含む運営チームによる自主企画、市民が中心となる市民企画、持ち込み企画などを展開します。
 - ▼セミナー、ワークショップ、交流会などの活動の場となります
 - ▼多様な分野の専門家、アーティストなどによるトークイベントやシンポジウムも予定
- ③創造支援事業
 - 市民のアイデア実現や創作物の発表などを運営チームがサポート。創造力の発揮を支援する事業を行います。
 - ▼プロジェクトを公募して実現へ
 - ▼活動のマッチング(組み合わせ)を支援
 - ▼さまざまな文化創造活動の支援



- ④創造実験事業
 - 多様な分野の専門家などを招いて、実験的なテーマに取り組み自主企画事業を行います。
 - ▼演劇や舞踏の舞台公演、展示会もあるかも？
 - ▼公開制作や長期滞在制作
- ⑤地域連携
 - 芸術文化ゾーンをはじめとする近隣の歴史・文化施設、商業施設と連携。また、施設で生まれたアイデアや企画をまちなかで展開します。
 - ▼芸術文化ゾーン内の歴史・文化施設などとの連携企画
- ⑥情報発信・アーカイブ
 - 「秋田市文化創造交流館(仮称)」が行う活動ウェブサイトや刊行物を通じて発信し、活用可能な形でアーカイブします。
 - ▼事業をまとめたアーカイブの運用や定期刊行物発行のほか、インターネットのSNSサービスを通じて広く発信



●今年7月から来年6月末まで改修工事を行う予定です

●今年度は事業計画や開館時間、利用料金などのルールづくりに取り組むほか、オープン前イベントも実施予定です